

# 平成20年度浜田市決算状況をお知らせします

平成20年度の一般会計決算状況は歳入決算額が338億6,338万円（対前年度比2.1%減）、歳出決算額は327億7,248万円（対前年度比4.7%減）、翌年度へ繰り越す財源6億1,110万円を除いた実質収支で4億7,980万円の剰余金が生じました。現在の経済情勢を踏まえると、当市の財政は、当面の危機的状況は回避できたものの、決して楽観できる状態ではなく、引き続き「中期財政計画」に沿って、「物件費等55億円財源計画」等行財政改革を確実に実行し、持続可能な財政の確立に努める必要があります。

**歳出総額 327億7,248万円**

区分	具体的内容
総務費	庁舎の管理、徴税、選挙などに使いました。
民生費	お年寄りや障害のある人、生活保護、子育て支援などに使いました。
衛生費	ごみ処理や火葬場の維持、病気の予防、環境保全などに使いました。
農林水産業費	農業や林業、漁業の振興などに使いました。
商工費	商業や工業、観光の振興、企業誘致などに使いました。
土木費	道路や河川、公園、住宅の整備などに使いました。
消防費	消火活動、救急救命などに使いました。
教育費	小中学校、幼稚園、公民館の運営、文化財保護、生涯学習などに使いました。
公債費	借金の返済に使いました。
その他	議会の運営、勤労青少年ホームの運営などに使いました。

## 平成20年度に実施した事業

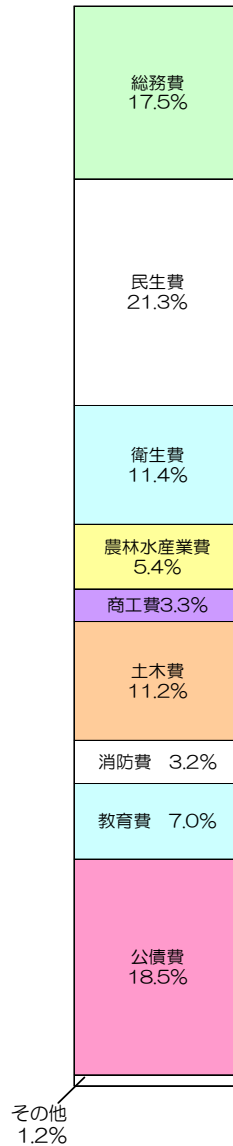


浜田駅北地区整備事業  
(事業費6億9,958万円) 繰越明許費含む

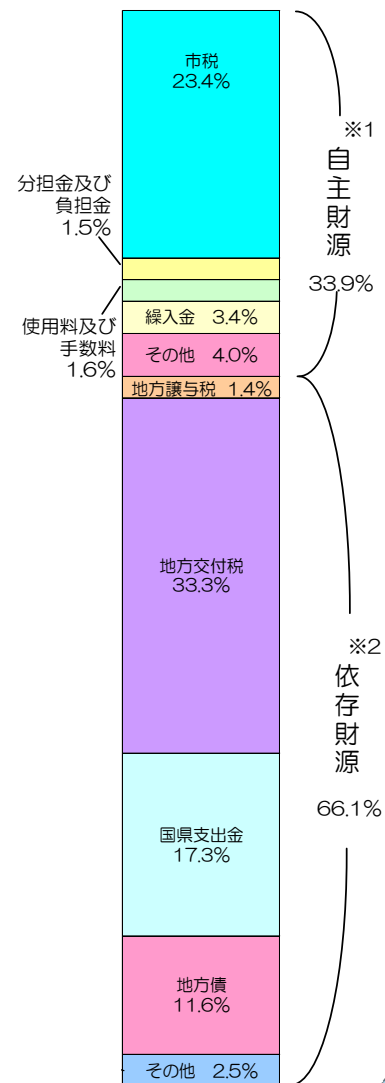


CATV整備事業  
(事業費11億1,258万円) 繰越明許費含む

## 【歳出】



## 【歳入】



※1 自主財源 33.9%

※2 依存財源 66.1%

**歳入総額 338億6,338万円**

区分	具体的内容
市税	みなさんが納めた税金です。市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税などがあります。
分担金及び負担金	特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金です。保育料、福祉施設入所負担金など。
使用料及び手数料	市の施設の使用料や、住民票等の発行手数料などです。
繰入金	基金（市の預金）を取り崩したり、特別会計（下段参照）から移し入れたお金です。
その他	預金利子や市の貸付けの返済金、事業受託収入などがあります。
地方譲与税	国が徴収した揮発油税や自動車重量税などのうち、一定基準が市に配分されます。
地方交付税	市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国から交付されるお金です。所得税や法人税、消費税、酒税等を配分しています。
国県支出金	市が行なう事業に対し、国や県が補助したり負担するお金です。
地方債	多額の経費がかかる事業（道路や学校建設など）を行なうために、国や銀行から借りたお金です。
その他	地方消費税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金、自動車取得税交付金、配当割交付金などがあります。

※1自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のことです。  
※2依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や政府、銀行等から借り入れた収入のことです。

**歳入歳出差引額 10億9,090万円**

内訳  
・翌年度繰越金 6億1,110万円…平成21年度に延長して行う事業に充てられます。  
・剰余金 4億7,980万円…「財政調整基金」に積立を行います。

## 浜田さん家の家計簿をみましょう!!

決算額（一般会計）を10,000分の1にして12で割り、1ヵ月分の家計簿風にしてみると…

支出	市の性質別区分	金額
食費	人件費	5万1千円
光熱水費、日用雑貨代	物件費	3万円
医療費、保育料など	扶助費	3万5千円
ローンの返済金	公債費	5万円
子供への仕送り	繰入金	2万6千円
家の増築費、新車購入	普通建設費、災害復旧費	4万2千円
町内会費、ご祝儀等	補助費等	2万5千円
定期預金	積立金	5千円
家や車の修理代、友人へ貸したお金	維持補修費、貸付金、投資及び出資金	6千円
支出合計		27万3千円



収入	市の性質別区分	金額
給料	市税	6万6千円
家賃収入	使用料及び手数料等	2万円
預金の取り崩し	繰入金	1万円
親からの援助	地方交付税、地方譲与税等	10万5千円
兄弟からの援助	国県支出金	4万9千円
借金	地方債	3万2千円
収入合計		28万2千円

毎月約9千円の赤字となり、1年で約10万8千円となりました。そのうち、約6万円を翌年度に持っていき、残った約4万8千円を『財政調整基金』銀行に預金しました。

浜田市の会計には、一般会計の他、特定の収入で支出を賄う特別会計が12あります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業の公営企業会計があります。

## ■公営企業会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
水道事業	994,638	881,201
工業用水道事業	103,243	85,356
	9,225	10,564

## ■特別会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	6,703,287	6,678,331
直診勘定	261,883	261,883
駐車場事業	66,921	65,839
住宅新築資金等貸付事業	3,079	3,079
公設水産物仲買売場	18,686	18,348
老人保健医療事業	822,669	876,007
国民宿舎事業	76,409	76,409
公共下水道事業	582,515	582,442
農業集落排水事業	1,225,941	1,224,806
漁業集落排水事業	80,025	80,019
生活排水処理事業	61,355	61,330
簡易水道事業	1,154,596	1,154,191
後期高齢者医療	1,293,038	1,292,750